

H28 奥山小学校 学力向上プラン

P(計画)

D(実施)

C(評価)

A(改善)

説明責任

自己評価

【児童生徒の学力状況】

項目	優れている点	伸ばしたい点
学習意欲	・落ち着いた授業に参加できる点。 ・与えられた課題に対して意欲的に取り組むことができる点。	・自ら課題を見つけ、学ぼうとする態度 ・様々な物事に自ら挑戦する態度
表現・処理力	・学んだ表現を適切に活用できる点。 ・活動への取り組みが丁寧な点。	・多様な表現方法を獲得し、活用する力 ・自ら考え行動する力
知識・理解力	・基礎的内容についてきちんと定着している児童が多い点。	・獲得した知識・理解を保持し、活用する力
家庭学習	・きちんと取り組む子が多い点。	・全児童の家庭学習の継続的な習慣化

【達成目標】

- ・月末テストでは、全学年90点以上を合格点とし、再テストを含め、全員が達成することができる。
- ・朝の会と帰りの会で、スピーチや詩の音読を全学年で通年実施する。
- ・学習課題に対して自分の意見を持ち、友達に分かりやすく伝えることができる。
- ・友達の考えのよさを認め、意見交流を通して、自らの考えを深めることができる。

【学力向上に向けての取り組み】

- ・月末テスト…授業での見取りや家庭学習の取り組み状況から、一人一人の課題を捉える。課題に応じた学習プリントやドリルの反復練習を通して、課題を補強する。学習内容が確実に身に付くよう、月末にドリルを出題範囲としたテストを行う。
- ・スピーチ・音読
 - …普段の生活や新聞記事を題材としたスピーチを行い、表現力の向上に努める。
 - 音読集を効果的に活用しながら、声に出して表現することの楽しさを味わわせる。
- ・言語活動の充実を図る授業
 - …校内研修の窓口を国語科とし、学習計画、学習過程の工夫の検討を進めるとともに、研究授業を、年間を通して計画的に行い、教師のスキルアップを図る。
- ・ぐんぐんタイム
 - …朝活動や業間の時間に学力補充のぐんぐんタイムの時間を設定し、かるたや百問計算プリントに取り組むことで、語彙力や計算力の向上を図る。

【H28全国学力・学習状況調査の結果から評価】

国語科、算数科ともにA問題では全国平均を上回っており、基礎的・基本的事項は身に付きつつあると考えられる。しかし、B問題に出題されたような、複数の事柄を関連付けながら解答する問題や、根拠を明確にして考え方を説明する問題の正答率の低さが目立った。

【H28県定着度調査の結果から評価】

全体的に県の平均を上回っている学年が多かった。国語科では、全校で文法・語法の項目は定着が高く、文章を読み取る問題ではいくつかの学年で得点率が低い傾向が見られた。算数科では、県の平均と比べて全体的に正答率が高く、基礎的・基本的事項は身に付きつつあることが分かった。

【月末テストの結果からの評価】

漢字ドリル、算数ドリルで繰り返し練習している問題については定着が高い。しかし、出題範囲が広がると定着度が低くなる児童が見られた。また、個人差が大きい学年もある。

【改善策】

国語科では、複数の事柄を関連付けて考えられるようにするために、物語文と並行読書に取り組んだり、作文学習では、複数の資料から自分の考えを導かせたりするようにする。算数科では、学び合う活動の充実を図り、友達同士で考えを深め合い、論理的に解答を導き出せるよう、さらなる授業改善に努めていく。

【改善策】

国語科では、問われていることを正しくつかむために、教科書の言葉に着目した授業を展開するようにする。算数科では、引き続き、月末テスト等を活用して基礎的・基本的事項を習熟させていくとともに、身近な生活との結び付きを考えさせたり、活用問題に挑戦させたりするようにする。

【改善策】

家庭と協力を図り、家庭内でも自分の力できちんと学習する習慣を身に付けさせる。また、自主学習にも取り組ませ、自分が苦手と感じている分野について把握し、それに対して自主的に学びを深められるよう指導していく。また、適切な個別指導によって、全員が十分に理解できるようにしていく。

学校関係者評価

- ・一人一人へのきめ細かな指導・対応が、国語の確実な定着に結び付いているのがよい。
- ・子供たちが積極的に読書を行い、文章を理解する力を身に付け、学習の更なる定着・向上に結び付けてほしい。
- ・子供たちが読書をしたくなる環境を作ったり、読書のすばらしさ・おもしろさを伝えたりしてほしい。(保護者や6年生などによる本の紹介、読書の仕方の紹介、親子読書の推進、図書室への新しい本の購入)
- ・月末テストやスピーチ、ぐんぐんタイムなど、来年度も引き続き行い、学習の基礎基本をしっかりと身に付けるようにしていくとよい。

改善策

- ・子供たちの読書への興味・関心を高めたり、読書量の向上に努めたりするなど、読書への取り組みを充実させ、文章を読み取る力を伸ばし、学力の定着・向上に結び付けるようにする。
- ・全校一斉で行う補充学習的な活動を今後も計画的に行い、基礎学力の確実な定着を図っていく。
- ・読書や家庭学習など、各家庭との連携を一層図りながら、基礎学力の定着・向上へつなげていく。